

# 第1回 NITS 大賞（平成 29 年度）エントリーシート

立命館大学大学院教職研究科

D-6

**【活動名】** 「教員のキャリア形成に何が必要なのかー現場からの提言ー」（パネル及びグループディスカッション）

**解決すべき課題：**  どんな問題を解決しましたか？

 教員のキャリアデザインをめぐる議論が進展し、今後、現職研修のあり方が大きく見直されていくことが予想される。一方で、教員の資質向上に関する指標の策定などによって、多くの教員が共通に目指すキャリアデザイン（キャリアラダー）の方法を模索しながらも、他方では、教員のキャリアデザインには、多様な方法があり、自治体、学校種等による差異にも十分に目を配る必要がある。

 また、多様なキャリアデザインのあり方について、情報を共有し、教員自らが主体的に語り合うことを通して、その内実も、より豊富化していくと考えられる。

 このような課題意識のもとで実施した本企画において、パネルディスカッションでは、京都府、滋賀県、大阪府、京都市という自治体による研修のあり方の違い、小学校、中学校、高等学校という学校種による研修のあり方の違いなどが鮮明となり、また、小グループによるグループディスカッションでは、参加者が多様なキャリアデザインの方法について情報を共有しながら、主体的に教員のキャリアデザインについて考えることができた。

**目的や背景：**  解決すべき課題の背景や、活動の目的をおしえてください

 教育課題の複雑化、「資質能力」育成重視の授業への転換、国際化対応などが求められる現在、学校現場の責任者である学校長は、教員のキャリア形成をどのように考えているのか。教員のキャリアデザインについて、均質的な議論が展開する中において、自治体・学校種を異にする学校長から多様な視点から提案いただきながら、自治体・学校種を越えて共通の事柄と、自治体・学校種による多様性の両者を明らかにしていきたい。また、現職教員の研修に詳しい本研究科教員によるコメント、パネラー間での相互討議、パネラーを囲んでのグループディスカッションなどを通して、参加者が主体的に語り合い、「教員のキャリアデザイン」についての理解を深めながら、教育委員会関係者、現職教員、教職大学院院生、教職大学院教員間での新たなネットワークを構築する場とすることを目的に実施した。

**活動内容：**  何をしましたか？

 「研修成果活用部門」については、研修のどのような内容を活用して課題解決につなげたかがわかるように記載して下さい。

**【当日のプログラム】**

13：00-13：10 NITS カフェの開催にあたって（立命館大学大学院教職研究科長 春日井敏之）

13：15-15：10 パネルディスカッション

15：15-16：00 グループディスカッション＜パネラーを囲んでのグループ討議＞

16：00-16：15 全体討議

**【実施の様子】**

パネリストから所属の校種、自治体の状況を踏まえた提案が行われ、各コメンテーターの視点から発表内容の整理がなされた。質疑応答の際には京都府総合教育センターからの参加者より現在の京都府の研修の状況についても紹介されるなど、各パネリストからの提案をさらに深める内容となった。グループディスカッション（パネラーを囲んでのグループ討議）では小学校、中学校（2グループ）、高等学校の校種ごとに4グループを作り、教職研究科の教員が進行役となってテーマに基づく活発な議論が行われた。

**活動の成果：**  それによって、どんな成果が得られましたか？

 参加者からは教員のキャリア形成のために必要なことを学ぶことが出来た、教員の主体性の重要さ、初任者、ミドル、管理者に求める力を区分けすべき点、区分けすべきでない点を学んで大変勉強になった、教員の中心には「人間関係」があり、教員と子ども、そして子ども同士、教員同士のつながりを築くことが大切だと感じました等の感想を得た。また、パネリストからも、他校種・他自治体の考え方に触れることができるとともに、グループディスカッションで多様な意見に触れることができ、パネリストにとっても貴重な機会となったという感想を得た。企画の趣旨を受け止めた前向きな感想を多くいただき、今回の企画の所与の目的は達成できたと考えている。

 その一方で、より多くの現職教員に参加してもらうための適切な開催時期や、私立学校の教員を如何に巻き込んで議論をすることができるかなど、今回の企画を通して新たに見えてきた課題もあり、これらについては、研究科として継続的に検討を進めていきたいと考えている。

**アピールポイント（アイデア）：**  もっとも、がんばったこと、注目したことをアピールしてください。

立命館大学大学院教職研究科は立命館大学のキャンパスがある京都府教育委員会、京都市教育委員会、滋賀県教育委員会、大阪府教育委員会と連携した研究科であることから、今回の企画においても4つの教育委員会に後援をいただいた。当日のパネリストも各府県の学校種を異にする学校長に依頼でき、また参加者も府県を越えて参加いただいた。府県を越えた教育委員会との連携によって運営されている本研究科の企画であるため、各自治体の取り組み自体も相対化できた。

# 教員のキャリア形成に

# 何が必要なのか

## —現場からの提言—

教育課題の複雑化、「資質能力」育成重視の授業への転換、国際化対応などが求められる現在、学校現場の責任者である学校長は、「教員のキャリア形成」をどのように考えているのでしょうか。

京都府、京都市、滋賀県、大阪府の自治体・学校種を異にする学校長をパネラーにお迎えし、多様な視点から提案をいただきながら、「教員のキャリアデザイン」について理解を深めていきます。



### プログラム

- 13:00-13:10 NITS CAFE の開催にあたって  
(立命館大学大学院教職研究科長 春日井敏之氏)
- 13:10-15:00 パネルディスカッション  
(司会 立命館大学大学院教職研究科副研究科長 森田真樹氏)
- パネラー
 

滋賀県立八日市南高等学校校長	中尾俊一氏
京都市立高倉小学校校長	岸田蘭子氏
京都府宇治市立北宇治中学校校長	松元伸祥氏
大阪府摂津市立摂津第二中学校校長	筒井 豊氏
- コメンテーター
 

立命館大学大学院教職研究科教授	久保富三夫氏
立命館大学大学院教職研究科准教授	小松茂氏
- 15:00-15:50 グループディスカッション  
<パネラーを囲んでのグループ討議>
- 15:50-16:00 全体討議

# 2017.12.17 [Sun]

時間

# 13:00-16:00

受付開始 12:30

場所：立命館大学朱雀キャンパス 中川会館 1階 多目的室

最寄り駅

- JR 嵯峨野線 「二条駅」下車 徒歩約 2分
- 京都市営地下鉄東西線 「二条駅」下車 徒歩約 2分
- 阪急京都線 「大宮駅」下車 徒歩約 10分



問い合わせ先

立命館大学朱雀独立研究科事務室  
 電話番号：075-813-8269  
 メールアドレス：kyoken-s@st.ritsumeai.ac.jp

